








長岡中央総合病院 中央健診センター


人間ドックオプション検査

料金一覧

	検査項目	料金 (税込)円
循環器 (心臓・血管)		
	心不全検査 (NT-proBNP)	2,200
	脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 (LOX-index)	13,200
	動脈硬化検査 (small dense LDL)	5,500
消化器 (胃・肝臓)		
	胃がんリスク検査 (ABC検診)	3,300
	肝線維化マーカー (M2BPGi)	5,500
呼吸器 (肺・気道)		
	胸部CT検査	13,200
	喀痰細胞診	3,300
乳がん検診 (マンモグラフィ)		
	1方向	3,300
	2方向	5,500
子宮がん検診 (内診・頸部細胞診・経膈超音波検査)		
前立腺がん検査		
甲状腺検査 (FT3・FT4・TSH)		
骨密度検査		
その他		
	アレルギー検査	11,000
	内臓脂肪面積検査	3,300

オプション検査		検査説明
 (心臓循環器血管)	 心不全検査 (NT-proBNP)	乱れた生活習慣などにより、負担がかかった心臓は“NT-proBNP”という物質を分泌します。このホルモンを調べて心臓病のリスクを予測します。息切れがする、急に体重が増えたり浮腫があるなどの心不全を疑う症状が気になる方にお勧めします。
	 脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査 (LOX-index®)	動脈硬化の原因物質とされる血中物質を測定することで、将来の脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを調べます。※詳細についてはP5.6 参照。
	 動脈硬化検査 (small dense LDL)	悪玉コレステロール (LDLコレステロール) の中でも、より強力に動脈硬化を引き起こす超悪玉コレステロールの値を調べます。高血圧・中性脂肪高値・高血糖・肥満を指摘されている方にお勧めします。

オプション検査		検査説明
 (胃・肝臓) 消化器	 胃がんリスク検査 (ABC検診)	血液検査によって胃がんリスクを選別する検査です。 胃がんそのものを見つけ出す検査ではありません。 胃がんにはヘリコバクターピロリ菌の感染とそれに伴う胃粘膜の萎縮が関係しているといわれています。 「ピロリ菌の有無」と「胃炎の程度」を検査することで「胃の健康度」がわかります。 対象者：今までピロリ菌検査または、胃がんリスク検診 (ABC検診) をしたことのない方 但し、以下に該当する方は正しい結果が出ない場合がありますので、この検査は適しておりません。 ・ピロリ菌の除菌治療を受けた方 ・腎不全の方 (クレアチニン値3mg/dℓ以上) ・食道、胃、十二指腸の病気で治療中の方 ・胃酸を抑える薬を服用中の方 (タケプロン・パリエット・オメプラール等) ・胃を切除した方 ・抗生剤内服している方 ・明らかな胃の症状がある方
	 肝線維化マーカー (M2BPGi)	脂肪肝や炎症が原因で肝臓がダメージを受けると肝臓の線維化が進み、一部は肝硬変や肝臓がんにつながる可能性があります。この肝臓の線維化の進展度を調べることができます。脂肪肝を指摘された、肝機能の結果が悪い、毎日飲酒している等の方にお勧めします。

オプション検査		検査説明
 呼吸器	胸部CT検査	胸部を輪切り状でX線撮影する検査です。立体的に撮影することができるため、胸部レントゲンでは診断しにくい早期の肺がん等を発見することができます。 ICDやペースメーカー装着の方や、*1グルコースモニター、インスリンポンプなどの糖尿病関連機器を装着中の方は安全のため胸部CT検査は受診できません。*1ただし、当日外せる場合を除く。 ※協会けんぽ人間ドック健診の方は対象外です。
	喀痰細胞診	気管、気管支、肺の病気を知る手がかりになる検査です。特にお勧めな方 ・血液の混じった痰が出たことがある ・たばこを吸う ・職業上有害業務 (石綿等を扱う作業・鉱業など) に就いたことがある

乳がん検診（マンモグラフィ）

乳房専用のレントゲン検査です。乳房を片方ずつ透明なプラスチック版で挟んで撮影します。触ってもわからない小さな乳がんも発見できます。

※特に40歳代の方は乳腺が発達していてしこりがわかりづらく、また乳がんの発生率も最も多いため2方向の撮影をお勧めします。

※以下の方は、乳がん検診をご遠慮いただいております。

- ・妊娠中、妊娠の可能性がある方
- ・心臓ペースメーカー、埋め込み型除細動器（ICD）、埋め込み型心臓モニター、VPシャント、皮下埋め込み型ポートを挿入されている方
- ・授乳中の方
- ・卒乳後6ヶ月以内の方
- ・豊胸手術などでインプラント（人工物）を挿入している方
- ・グルコースモニター、インスリンポンプなどの糖尿病関連機器を装着中の方は安全のため乳がん検診（マンモグラフィ）は受診できません。*ただし、当日外せる場合を除く。

子宮がん検診（内診・頸部細胞診・経膈超音波検査）

がんの前段階を含めて、子宮頸がんを見つけることができます。同時に超音波検査にて子宮や卵巣の異常を見つけることができます。

特にお勧めの方

- ・生理痛が強い、生理の量が多い
 - ・子宮筋腫など以前から指摘をされている
 - ・卵巣の病気の心配がある
- ※生理中出血量が多い場合、ごくまれに細胞診の結果が正しく出ないことがあります。

前立腺がん検査

血液検査でできる前立腺のスクリーニング検査です。前立腺がんは高齢化と生活様式の欧米化にともない増加しています。

甲状腺検査（FT3・FT4・TSH）

甲状腺ホルモンの分泌異常がないかを調べます。甲状腺機能低下症状（倦怠感がある、疲れやすい、むくみが出る、寒気や眠気がある、気分が落ち込む）や甲状腺機能亢進症状（動悸がする、手指が震える、汗をかく、精神的にイライラして落ち着かない、食欲が増した）がある方は検査をお勧めします。

※甲状腺薬を服用中の方、甲状腺疾患で受診中の方は対象外になります。

骨密度検査

骨を構成しているミネラル類（骨量）を測り、骨の強度を調べる検査です。骨密度が低下すると骨がもろくなり、骨折しやすくなるといわれています。特に、女性は加齢やホルモンの影響により骨量が低下しやすいので、閉経前後から70歳位までの方は定期的に測定することが重要です。

- ・腰が曲がっている方、骨粗鬆症の治療を受けている方は医療機関の受診をお勧めします。
- ※撮影部位は腰となります。腰の検査が困難な場合や、腰椎や股関節に人工物（金属）がある方は、撮影部位を変更する場合があります。
- ※70歳以上の方は、大腿骨での測定になります。
- ※以下の方は骨密度検査をご遠慮いただいています。
- * グルコースモニター、インスリンポンプなどの糖尿病関連機器を装着中の方は安全のため骨密度検査は受診できません。
- * ただし、当日外せる場合を除く。



アレルギー検査（View39）

アレルギーの原因となることが多い39項目のアレルゲンを調べます。決まった時期や場所でくしゃみ、鼻水、目のかゆみが出る原因がわからないという方にお勧めします。

【吸入系・その他のアレルゲン】

ヤケヒョウヒダニ、ハウスダスト1、ネコ皮屑、イヌ皮屑、ガ、ゴキブリ、スギ、ヒノキ、ハンノキ（属）、シラカンバ（属）、カモガヤ、オオアワガエリ、ブタクサ、ヨモギ、アルテルナリア（ススカビ）、カンジダ、アスペルギルス（コウジカビ）、マラセチア（属）、ラテックス

【食物系アレルゲン】

卵白、オボムコイド、ミルク、小麦、ソバ、米、エビ、カニ、大豆、ピーナッツ、鶏肉、牛肉、豚肉、マグロ、サケ、サバ、キウイ、リンゴ、バナナ、ゴマ

内臓脂肪面積検査

CTを用いてお腹の断面写真を撮り、画像から内臓脂肪の面積を測定し内臓脂肪型肥満の有無を判定します。内臓脂肪と皮下脂肪を色分けした解析画像を見ることができ、その面積を正確に出すことができます。内臓脂肪が多いと脂肪細胞から悪玉ホルモンが分泌され、動脈硬化が進行して心筋梗塞や脳卒中が起こりやすくなります。

撮影時間は5分程度です。通常の腹部CT検査に比べ被ばく量が少なく、安心して検査をお受けいただけます。

【特にお勧めの方】

- ・健康診断で生活習慣病と指摘されたことがある方
- ・血圧、血糖、コレステロール、中性脂肪、肝機能数値の高い方
- ・血栓（血管のつまり）による肺や脳、心臓血管の疾患が心配な方
- ・体型に変化のあった方

※以下の方は内臓脂肪面積検査をご遠慮いただいております。

- ・妊娠中、妊娠の可能性がある方
- ・心臓ペースメーカー、埋め込み型除細動器（ICD）を装着されている方
- ・グルコースモニター、インスリンポンプ等糖尿病関連医療機器を装着中の方（但し、当日外すことができれば可）

2026年度版

～スタッフのおすすめオプション検査～



第1位：LOX-index[ロックスインデックス]

動脈硬化の原因物質とされる血中物質を測定することで、将来の脳梗塞心筋梗塞発症リスクを調べる検査です。



第2位：内臓脂肪面積検査

新規オプション

CTを用いてお腹の断面写真を撮り、画像から内臓脂肪の面積を測定し内臓脂肪型肥満の有無を判定します。



第3位：アレルギー検査（View39）

アレルギーの原因となることが多い39項目のアレルゲンを調べます。

1 おすすめランキング1位

血液
オプション
検査

脳梗塞 心筋梗塞は ある日突然発症します



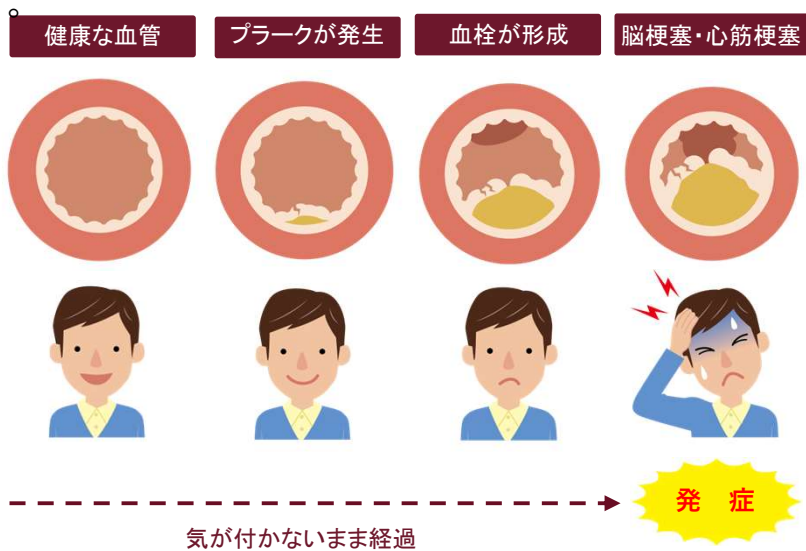
脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準。
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査

LOX-index[®] [ロックス・インデックス]

本当は怖い動脈硬化

動脈硬化は自覚症状がないまま進行し、ある日突然脳梗塞や心筋梗塞を発症します



脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患
「3人に1人」が死亡か後遺症に



心筋梗塞

突然死の危険のある疾患
年間「約15万人」が発症

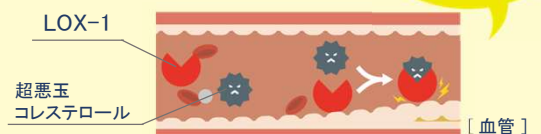


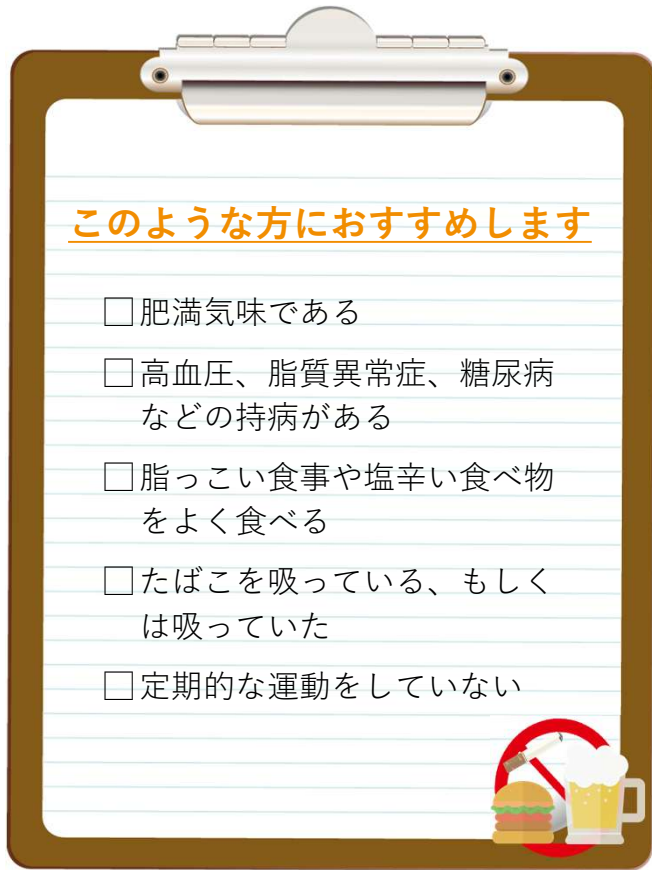
生活習慣を改善し、
早期に予防することが大切！

LOX-index[®] [ロックスインデックス] どうして将来リスクが分かるの？

採血のみの
簡単検査！

検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール [酸化変性LDL] と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる [LOX-1] というたんぱく質を測定します。検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度(リスク)を予測いたします。





Q&A よくあるご質問

- Q. 検査に食事制限などはありますか？**
制限はありません。食前や食後に影響なく受検いただけます。
- Q. 実際に脳梗塞になっているの分かりますか？**
いいえ。実際に脳梗塞になっているかどうかを見ているのではなく、将来的に脳梗塞や心筋梗塞になりやすい状態にあるかどうかを調べるための検査です。
- Q. 検査は一度だけ受ければよいの？**
採血した時点の体質を見るものとなりますので、年に一度程度、健診や人間ドックに併せてのご受検をおすすめします。
- Q. 検査結果が悪かった場合は？**
検査レポートのアドバイスに従って生活習慣などの見直しを行うことをお勧め致します。必要に応じて血管の硬さやつまり具合を調べる検査の受検もおすすめします。

◆検査結果サンプル（解説資料付き）

発症リスクのレベルを分かりやすくグラフで記載。

過去の検査結果からの推移も一覧できる解説付き。

生活習慣改善のためのアドバイス冊子つき

The image shows a sample test report for LOX-index and sLOX-1, along with a lifestyle guide. The report includes a patient's name (サンプル タロウ 様), age (47歳), and test date (2023/4/1). The LOX-index result is 736, and the sLOX-1 result is 320. The report also includes a graph showing the patient's risk level and a table of historical results. The lifestyle guide provides advice on diet, exercise, and stress management.

受検をご希望の方は、スタッフにお申し付けください。

<検査に関する注意点>

- ※ 妊娠中は受検を控えてください。（妊娠中、出産後3ヶ月以内の方は検査数値が高く出る傾向があります。）
- ※ リウマチ、熱がある場合は、検査数値が高く出る可能性がございます。
- ※ 脂質異常症治療薬、抗血小板薬、降圧薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性がございます。